



佛事の常識・非常識



Q:身内の誰が亡くなると喪中欠礼（来年の年賀状を送らない通知）を出すのですか？

もう10月ですね、今年も残すところ後3カ月となりました。今年これまでにお身内にご不幸があった方は、そろそろ喪中欠礼の準備をなさる方もいらっしゃると思います。そこで今回は喪中欠礼を出す場合には、身内のどの範囲の方が亡くなった場合なのかをご一緒に勉強したいと思います。A:喪中の範囲については、義理の関係も含めて祖父母、父母や子・孫そしてもちろん配偶者と一般的に考えられます。婚姻や養子によって苗字が変わったとしても、同居の有無で血縁や親等まで変わったわけではないので、範囲については変わりありません。また喪中の期間については、一般的に一周忌を喪明けと考えられるために、その期間内に正月が必ず入ります。服喪の間、故人の冥福を祈りつつ慎みをもって静かに日々の生活を営むという神道の趣旨から、ハレの行事（例えば、初詣、祭礼など）には参加しないのだそうです。神様に死を見せない配慮です。でも仏教は死を忌み嫌うこともなく、このような事は一切しません。神仏がごちゃまぜになっている私たちの意識を整理しましょうね。

寺ともさん・ごほれ話 今回は、上の「仏事の常識・非常識」効果をご紹介します。と申しますのも、「寺

ともかわら版」発行以来、3年が経とうとしています。とかく敷居が高く分かりにくい仏事のことですが、皆さんの素朴な視点からの疑問・質問を細大漏らさず聞き取るようにつとめていますと、ここに来て大ブレークです。行く先々で皆さんからご質問をいただけるようになって参りました。とにかく面白い問いが続々と出てきます。「なるほど、たしかにこんな事例はどうしたらいいのかな〜？」と考えさせられ勉強させられることがたくさんあります。こういう形で、お互いの垣根を超えたお付き合いができそうです。どしどしご質問下さいね。また、「お墓と供養の勉強会」で頂いた声の一つお届けします。「みんなの思いは同じように感じとれました。徳成寺さんの行き届いた管理等、お話を聞きに来て本当によかった」とありました。お互いの悩みを共有し共感し合う場がお寺で開かれるようになってきたようです。主役はお寺でなくあなた様お一人お一人です。お役に立てて有り難い限りです。

ご自慢のペットちゃん

名前：ごんた
性別：♂
お年：13歳
種類：ヨークシャテリア
好物：お野菜
苦手：おとうさん？
住所：二宮さん宅(高松市)
性格：がんで甘え上手



ペットちゃんを募集しています

エピソード：お子さんが二人いらっしゃる家庭に3人目？の子供としてクリスマスプレゼントにブリーダーさんからわけてもらったごんたくん。どういうわけかベジタリアンで野菜を切っていると妙に欲しがります。飼い主に似たのかとってもがんでです。でも、とっても甘え上手で洗濯した衣類やマットの上で気持ちよさそうにゴロゴロし、お日さまの臭いが大好きです。おっかないおとうさんが、ちょっぴり苦手ですが、元気いっぱい走り回っていますよ！

NHK高松放送局ゆうどき香川・とれとれマイビデオ



9/4 夕方6時48分放送

8月の寺とも「真夏のネイルアート遊び」が9/4NHKに出ました。島アナからは「子供も大人も楽しそうな様子が伝わってくる作品でした」というコメントを頂戴しました。参加できなかった方もテレビで見て参加して下さいね♪

おまけ

倉本先生には、体を冷さないこと、リンパ節が集中している首を温める等、たくさんの健康のススメを教えてくださいました。皆様もどうか健康で過ごして下さいね。
@かわら版不要の方は恐れ入りますが087-821-6348へご連絡を。